



2022年11月29日

株式会社 阿波銀行

荒川建設株式会社の「SDGs 宣言書」策定について  
～ お客さまの SDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、荒川建設株式会社（代表取締役 荒川 郷史、本社：徳島県鳴門市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

#### 【企業概要】

企業名	荒川建設株式会社
所在地	徳島県鳴門市撫養町立岩字六枚 190 番地
代表者	荒川 郷史
業種	土木建築業
設立	1963 年 3 月 28 日

#### ○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

# SDGs宣言書

2022年11月29日



## 荒川建設株式会社 代表取締役 荒川 郷史

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール
環境・経済	温室効果ガス排出低減	CO <sub>2</sub> 排出量削減とエネルギー使用量の削減を推進します。	① 各工事用車両のエネルギー使用量の把握と削減	 
			② 2028年度までにCO <sub>2</sub> 排出量8%削減	
環境・経済	循環型社会に適した製品の提供	自然環境を保護・整備しながら、環境配慮型製品を提供します。	① 放置竹林を間伐・整備し、間伐材を原料として利用	 
			② 2024年度までに不要となった竹材を集成材として提供	
環境・経済	工事用車両・社用車の環境に対する配慮	工事用車両・社用車の環境に配慮した車両の配置を行います。	① (1)PHV・EV・FCVの導入、入替 (2)建設機械の環境型エンジンへの入替	
			② (1)2027年度までに導入率60% (2)2030年度までに導入率40%	
環境・社会・経済	災害時における事業リスクの防止	天災・災害時において事業を迅速に復旧・継続するため、万全の準備を整えます。	① (1)食糧・飲料水の備蓄 (2)燃料・電気のバックアップ体制	
			② (1)2024年度までに全社員分の備蓄 (2)2024年度までに備蓄体制を完了	

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



#### SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。